

大会運営と連動した 会員管理システムのご紹介

富田基史

(電子情報委員・電力中央研究所)

会員管理業務の課題

- オフラインのデータベースで情報を管理している
 - 業務が非効率, かつ属人的になりやすい
- 大会運営システムとの連携が手作業
 - 発表資格チェック等に時間を要する
 - 大会参加情報と会員情報の不整合
- 大会参加費の徴収が会員管理業務と別に行われている
 - 支払い窓口が2つあり, 分かりづらい

業務効率化・会員サービス向上のため, 現行の会員管理システムを, 大会運営との円滑な連携が可能なオンラインシステムに更新する

会員管理システム更新までの経緯

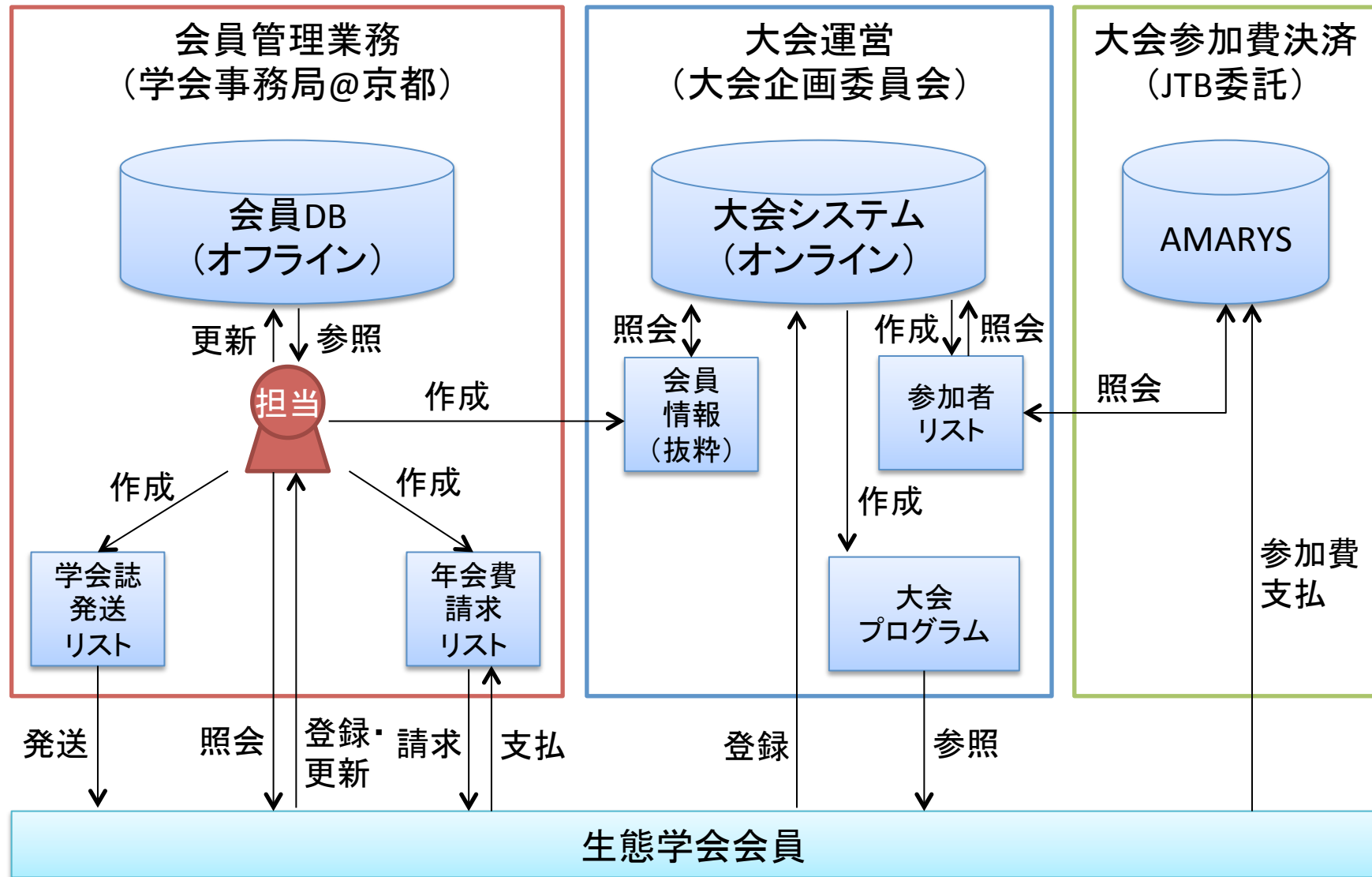
- 2013年3月 現行の会員管理システム(Accessデータベース)が古くなったため、システム更新を計画。電子情報委員会で仕様を策定して発注。
→ プロトタイプ版を開発
- 2014年3月 電子情報管理・運営体制検討タスクフォース発足。
会員管理だけでなく、大会運営・会費決済(大会会費・年会費)を含めたシステムの更新を念頭に、情報収集を開始
- 2014年12月 タスクフォース検討結果を理事会に報告。システム更新に加え、会員管理については事務局業務も委託することを答申し、承認。
- 2015年1月 運営改革作業部会発足。大会運営・会員管理それぞれについて要求仕様書を作成し、複数業者に見積を依頼。
- 2015年3月 業者からの見積回答を作業部会で検討。国際文献社を委託先の第一候補に選定し、詳細仕様の策定を開始。
- 2016年2月 国際文献社と正式に業務委託契約。
2016年4月1日より、**会員管理業務を移管。**

電子情報
委員会

タスクフォース

運営改革
作業部会

旧システムの概要



新システムの概要

